

9月になりました

ある日の帰り道、学校を出て光の丘2番のバス停に向かっていると、きれいな月が夜空に浮かんでいました。この日は9月9日金曜日、満月の前の日でした。中秋の名月、みなさんは見ましたか。



<食育>

2学期も給食が始まりました。季節や行事を意識したもの、食文化を意識したもの等、いろいろな給食をいただいています。

現在同じ県立の三浦初声高等学校と、食を通した連携に向けて動き出しています。三浦初声高等学校(和田キャンパス)は、農業を専門に行っている学校です。給食の食材を通した交流や食育の充実、地域とのつながりを大切にしていきたいと思えます。

<気持ちを後押し>

ナッジ理論という言葉を知ったことはありますか。先日テレビの番組で紹介されました。調べてみると、行動経済学を実社会で役立てるため、一つの方向性として示されたのがナッジ理論とのことです。

ナッジとは、“そっと後押しする”という意味の英語です。強制的ではなく、自発的に物事を選択できるように後押しすることを意味しています。これは、私たち特別支援学校が行っている個別の配慮、視覚支援に大いに通じる考え方です。先日保健室で行われていた身体計測では、廊下に一定間隔に足形が置かれていました。静かに待つために、教員からの言葉かけは最小限にとどめます。そのためには、床に置いた足型のマークはとても有効です。私たちが普段授業で使っているツールにもこの考え方が使われています。

行動変容のためには、環境設定がカギになります。視覚支援をはじめとした支援の工夫は、良好な人間関係作りにも関係してきます。強制的ではなく、そっと気持ちを後押しするという考え方は、これからも大切になってきますね。

副校長 小川